

最優秀 山形日産グループ

山形広告賞 優秀賞には山形銀

山形広告協会（会長・寒河江浩一山形新聞社長）主催の第13回山形広告賞の選考会が24日、山形市の山形メディアタワーで開かれた。審査の結果、最優秀賞に山形日産自動車、日産プリンス山形販売（山形市）のキヤンペーン「山形が好き。」山形日産グループ創業60周年記念プロジェクト「山形が好き、クルマが好き。」が優秀賞に山形

銀行（同）のテレビCM「みんなにベンリ宣言！シリーズ」がそれぞれ選ばれた。

2021年中に掲載、放

送、発表された新聞やテレ

ビCMをはじめ、幅広い広

告活動が対象。全日本広告

連盟主催の顕彰事業がリニ

ュアルしたことを受け、

部門を従来のプリント、電

波の2部門から4部門に再

編した。プリント部門に25

点、ウェブ動画を含むフィ

ルム・オーディオ部門に14

点、新規性・独創性が特徴

のチャレンジ部門に1点、

統一コンセプトで展開した

キヤンペーンを対象にした部門に2点、合計42点の応募があった。

東北芸術工科大グラフィックデザイン学科の赤沼明

男准教授を選考委員長に、

広告主や媒体、印刷業界、

年分の山形への感謝を伝えると同時に若者へのイメージアップを狙い、日本を代表するアニメ作品に関わるスタッフで質の高いアニメ広告、CMなどを制作した。新聞、テレビ、動画配信サイトと多様な媒体で発信。美しい風景や名所、食といった地域の魅力、山形と人

をつなぐ車を販売する仕事の楽しさも伝える。デザイナー、広告代理店の代表10人が▽新規性・独創性に富んだアイデア▽高い広告的効果を生む▽大きな社会的意義、貢献度があるなどの基準で選んだ。

最優秀賞の山形日産グループのキャンペーンは、60年ぶりの山形への感謝を伝え、講評で赤沼委員長は「山形日産の作品はスケールの大きいキャンペーン。山形

をきつちり表現し、主人公の設定もよかつた。山形銀行のテレビCMは手書きが非対面で手軽にできるデジタルサービスの拡充を分かりやすく、テンポよく伝えた。

両作品は全日本広告連盟主催の鈴木三郎助全広連地域

広告大賞に山形広告協会推薦作品として応募する。

（坂本由美子）



山形広告賞の選考会。関係者が新聞広告、テレビCMなどを審査した
＝山形市・山形メディアタワー



最優秀賞に輝いた山形日産グループのキヤンペーン

の新聞広告

＝2021年3月20日付山形新聞